

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

8

2026 AUG

第 279 号

学校長からのメッセージ

7月の巻頭言で、私は「学びとは座学だけではない。勇気を出した先にある『良き出会いと体験』が、あなたの中に眠る賜物（可能性）を引き出ししてくれる」と書きました。スクーリング期間外（テスト終了後）の時期は、まさにあなたにとって可能性をひき出す「チャレンジ月間」です。

なぜ私がこれほど「行動」を勧めるのか。それは人によっては、この高校生活が、周囲の応援を受けながら安心して失敗できる「最後のチャレンジの場」になるかもしれないと考えているからです。

本校が提携している体験型プログラム（ひらく学校）は、ある一人の生徒との出会いから始まりました。読み書きに困難（ディスレキシア）を抱えていた彼は、社会に出る勇気を持てずにいました。彼には「服を作って貧困の子どもたちに届けたい」という夢がありましたが、障害への不安から、専門学校への進学は断念せざるを得ませんでした。

そこで、彼の可能性を伸ばす環境を作ろうと、私と当時の担任、そして非常勤講師であり一般社団法人「ひらく」の代表を務める町矢さんの3名が動き出したのです。彼は町矢さんとともに地域へ飛び出し、さまざまな職業人との出会いを通じ、服のデザインの奥深さを学びました。やがて自らデザインした服を地域のイベントで販売するまでに成長したのです。

彼のストーリーには、さらに続きがあります。その後も良き出会いがあり、アルバイト時代に培った調理の経験を活かして、現在は彼の障害に深い理解を示してくれるオーナーが営む食堂で、調理の仕事に生き生きと励んでいます。高校時代の最初の一步が、彼の人生を大きくひらいたのです。

聖書には「時をよく用いなさい」という言葉があります。今という大切な時間を、どうか自分の可能性をひらくために用いてください。他の誰かと比べる必要はありません。自分のペースで、安心して一步を踏み出してみてください。

保護者の皆様へ。子どもたちのペースや状況はそれぞれ異なります。彼ら彼女らが挑戦しようとする折々のタイミングで、そっと背中を押していただければ幸いです。「ひらく学校」には保護者の皆様も参加できるプログラムが多数あります。地域に開かれたYMCAで、ともに子どもたちの豊かな成長を応援していきましょう。

（校長 池田 博人）

「時をよく用いなさい。」——エフェソの信徒への手紙 5章16節

ひらく学校公式サイトはこちら ⇒





今月の聖句

「人間の心は自分の道を計画する。主が一步一步を備えてくださる。」

(箴言 16 章 9 節)

生徒の皆さんは、前期のスクーリング、レポート提出、そしてテストが終わったころでしょうか。最後まで、やりきれた人もいれば、途中でうまくできなくなった人もいるかもしれません。自分の思い描いたように出来事が進まなかった時、「どうすればよかったのか」といった漠然とした後悔や、「これからどうなるんだろう」といった将来への不安が、わたしたちの心を占めることがあります。聖書には、そのような「遠回り」や「脱線」に見える出来事にこそ、人が人生において大切な何かに出会うということを、様々な物語を通して伝えられています

例えば、ヘブライ人の偉大なリーダーとなったモーセの前半生は、「挫折と脱線」の連続でした。エジプトの王子としてのエリート街道を歩んでいた彼は、ある事件をきっかけに殺人者として指名手配され、ミディアンの荒れ野へと逃亡します。そこで彼は、羊飼いとしてみに 40 年を過ごすことになります。当時のエリートから見れば、完全な「人生のルールからの脱線」であり、無駄に見える時間だったかもしれません。しかし、この「脱線」こそが、彼の傲慢さを削ぎ落とし、後に何万もの民を率いる忍耐強い指導者へと彼を育てる「準備期間」となりました。

また、新約聖書の「放蕩息子のたとえ」に登場する次男は、父親から財産を分けてもらい、家を出て遠い国で好き勝手に暮らすという「人生の脱線」を経験します。彼は財産を使い果たし、豚の餌を食べるまでに落ちぶれて初めて、実家での暮らしの豊かさや自分の過ちに気づき、家に戻ります。そして、父親は、寄り道をしてボロボロになった息子を、一切責めることなく走り寄って抱きしめました。この脱線がなければ、次男は「父親がどれほど自分を愛してくれていたか」を本当の意味で理解することはできなかったのです。

私たちの目からは「遠回り」や「脱線」に見える出来事も、神様の目からは人生を生きていく上で重要な何か気づく大切な期間として備えられたものなのかもしれません。



「今月の聖句」 自己紹介

森山 徹(もりやま とおる)

Y チャレンジコース 2 年次の担任と、Y リンクコースの担当をしています。

好きなことは、読書(マンガ含)とスポーツ観戦と休日の二度寝。聖書の言葉や物語の魅力を少しでも共有できればと思っています。

